

「高校生との意見交換会」の開催について（報告）

1. 日時及び会場

令和2年2月4日（火）15：50～17：25 学校法人永島学園 出雲西高等学校

2. 参加者

- ・学校法人永島学園 出雲西高等学校 生徒10名（生徒会役員またはインターアクトクラブに所属）
- ・広報広聴調査・推進委員会 委員8名

3. テーマ

出雲の良いところと、もの足りないところを語り合おう ～魅力ある出雲市をめざして～

4. 実施方法

委員及び高校生を2つのグループに分け、同じテーマについて意見交換を行い、その後、それぞれのグループで出された意見を共有するため発表を行った。なお、高校生からは感想を発表いただいた。

5. タイムスケジュール

① あいさつ	2分	
② 趣旨、市の現状説明	15分	
③ 意見交換	60分	
④ グループ発表・感想	15分	
⑤ あいさつ	3分	合計95分

6. 開催状況



7. 高校生からの意見

別紙「高校生からの意見まとめ」参照

①出雲市の良いところ

- ・食べ物がおいしい。
- ・海、山、川など自然が豊かできれい。空気もきれい。
- ・神楽や太鼓、祭など伝統的な行事、イベントが多く、今でも継承されているのは自慢できる。
- ・出雲は日本神話の中心地でもあり、アピールできる強みである。
- ・10月は一般的に神無月だが、出雲では出雲大社があるおかげで神在月である。それが出雲の魅力である。
- ・部活動のインターアクトクラブで地域の方と活動をしていると、地域の結束力の強さと人の優しさを感じる。自分もそういうふうになれたらと思う。
- ・人がやさしい。学校からの帰り道に「気を付けて帰ってね」など声をかけてもらえる。
- ・年齢問わず仲が良い。アルバイトをする中で、初対面でも年齢層が高い方から話しかけてもらうことが多く、自分から話しかけたりもする。
- ・自然災害が少なく、治安もいい。
- ・住みやすいから県外に出たくない。満足している。
- ・環境にやさしいまち。いろいろな箇所にリサイクルステーションがあり、リサイクルに取り組んでいる。

②出雲市のもの足りないところ

- ・電車、バスなど交通機関が少なく、便数も少ない。特に山間部から中心部に出る際に、交通の便が悪く、通学でも公共交通は使えないから親に送ってもらっている。
- ・教育機関など学びの選択肢が少ない。声優になる夢を叶えたいが出雲には学校がない。スポーツについて学びたいが島根には学校がない。
- ・県外で学んで出雲に帰ってこようと思っても、就職の選択肢が少ない。職種が少ない。都会は選択肢が多いから誰もが県外に出る。
- ・服屋などのお店が少なく、欲しいものはインターネットでの購入になる。
- ・遊べる場所が、大型ショッピングセンターやボーリング場などに限られている。
- ・各種コンサートなど島根で開催されないことが多い。近隣では広島開催が多く、都会であればすぐに行ける。
- ・自然災害が少なく安全である反面、何かあったときに対処できるのかという不安がある。また、自分の地域の避難所を知らない人が多く対策不足を感じる。
- ・新型コロナウイルスの対策としてマスクをする人が少なく、都会に比べて意識が薄い。
- ・海岸などにポイ捨てゴミがある。
- ・道路の舗装がされていないところが多い。
- ・高齢化が進む中で買い物に行けない人がいる。買い物代行や都会でされているオンラインフードデリバリー（宅配サービス）などがあったらいい。

③その他

- ・子どもの頃から地元の祭などの準備手伝いをさせられてきたが、父と楽しく参加し、祭りも好きだったことから苦に感じたことはない。
- ・地域行事に参加することに抵抗はない。近所との関わりがなかったら不安になる。
- ・働くなら県外がいいが、結婚したら帰ってきたいと思う。
- ・市内で外国の人をよく見るようになった。コミュニケーションがとりにくい部分や、ちょっと怖い部分もある。
- ・奨学金をもらって進学した場合に、同じ系列で就職をするとお金を返さなくてもいいようなことがあり、地元に戻る人が減っている要因の1つだと思う。
- ・帰ってきて出雲で働きたい。出雲のために何かしたい。
- ・人を助けたい気持ちから介護の職に就き、地元の人を介護したい。

④魅力あるまちにするためのアイデア

- ・いろいろなメディア、SNS を利用した情報発信をしていく。出雲市のチャンネルを作り、国内の若い人向けに発信をしていく。
- ・最近テレビで出雲がよく取り上げられている。都会の人に出雲へ来てもらえるように、これからもPRを続けていきメディア強化を図る。有名な所だけではなく、出雲にはほかにも良いところがたくさんあり、出雲にしかない他のものもPRしていく。若い人向けにインスタ映えしそうなものをアップしていく。
- ・出雲は土地が多くあり、1次産業にもっと力を入れてほしい。農業では会社を作ってやっているところもある。そういったところを増やし、林業など1次産業を会社でやるようになってほしい。
- ・海岸ごみは外国のものも多い。ボランティア活動を通して、外国の高校生も自国メディアにそのことを流して、少しずつごみは減少しているがそれでもまだ多い。交流を通じてメディアに伝えるというのが大事である。学生だけではなく、大人もしっかりと交流をしてほしい。地域での企画を増やし、ボランティア活動を増やしていけたらいいと思う。そのためには、小さいころからの意識付けや普及啓発が大切だと思う。
- ・学生と地域の人が交流する機会があれば、もっと島根に貢献したい人、島根で働きたい人が増えると思う。
- ・高校生の交通手段は自転車などに限られている。ショッピングセンター、スポーツセンター、複合アミューズメント施設など、近くに1店でもあればうれしい。
- ・県外への若者の流出、高齢者の増加が多い。若者が帰ってきやすい、帰ってきたくなるような環境づくりが大切である。